

2022(令和4)事業年度

決 算 報 告 書



2022(令和4年)事業年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,456	3,468	12	(注1)
施設整備費補助金	62	56	△ 6	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	27	29	2	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	5	△ 15	(注4)
自己収入	632	622	△ 10	
授業料、入学金及び検定料収入	595	584	△ 11	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	37	38	1	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	127	157	30	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	445	158	△ 287	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	4,769	4,495	△ 274	
支出				
業務費	4,553	3,937	△ 616	(注9)
教育研究経費	4,553	3,937	△ 616	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	82	61	△ 21	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	7	6	△ 1	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	127	155	28	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	4,769	4,159	△ 610	
収入-支出	-	336	336	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として、光熱費等の物価変動への対応分として教育・研究基盤維持経費の予算が追加配分されたこと、当初予算内示後の学生支援に係る予算が増額されたこと等により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として、計画変更に伴い、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が22百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、授業料等減免費交付金については、年度計画作成時に想定していた見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、年度計画作成時に想定していた見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が15百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として、入学者及び入学志願者の減少等により、入学金及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が11百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として、入試センター試験実施収入が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、独立行政法人からの受託事業の受入、並びに、鳴門教育大学基金及び附属学校に係る寄附金受入が増加したため、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が287百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、主として、教育研究経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が616百万円少額となっています。
- (注10) (注2)及び(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が21百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、主として、学校保健特別対策事業費補助金の執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注12) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっています。また、決算額155百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額7百万円を含んでおりません。